

1976. 3. 9

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 113

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇お 願 い.....	1
◇年度末の業務スケジュールについて.....	3
◇昭和50年度分負担金キャンセルの受付について.....	3
◇カード穿孔機の変更について.....	4
◇オープンパンチ室インタープリタの騒音防止について.....	4

◇お 願 い

計算機の利用も1月、2月が最盛期で、皆様は長いターンアラウンドタイムに疲れをさらされたことと存じます。センター側も出来るだけの努力を払ったつもりですが、思うにまかせません。

昨年に比べ、皆様のジョブ1件あたりのcpuタイムもかなり伸びているようです。カードリーダーの前に並んだ人の中には九大センターで1ヶ月かかる仕事は東大センターに持って行けば、数日ですむと言われた方もいます。そのとおりでAジョブ程度なら、東大センターで数分で済むと思いますが(東大センターニュース)、我々の所では残念乍ら1日かかりましよう。

このような窮境を打開するため鋭意処理能率向上に努力していますが、年間レンタル料の差(東大、京大は我々の3倍)は如何んともしがたい状況です。レンタル予算の増額要求は来年度も認められませんでした。

この様な状況を踏え以下について、皆様のご援助、ご協力をお願いします。

- 1) 出来るだけ4月、5月等の閑散な時期に計算して下さるようご配慮をお願いします。ご承知のように例年この時期と夏休み迄は、割にすいていますので特に長時間かかるジョブの処理についてはこの時期にご計画下さることを希望します。

2) 最近科学研究費によるジョブが増加しています。校費でまかなえないような大きな計算を科研費で処理されることは、校費が物価に比し相対的に少なくなった今日、当然の成行きと思われまゝです。

また、センターとしても何の区別もなく使って戴いています。そのためどちらの費目による負担金も同じくセンター運営に使われているとお考えの方が多いようですので以下のことを述べておきます。

科研費によるジョブ負担金は実際には、センターでは全く使えないことになっており、そのまま大蔵省に還流されます。

従って、これによる設備拡充など利用者への還元は何も出来ません。むしろ、その処理のため必要なすべての経費は、維持費及び校費によるジョブ処理負担金でまかなわれています。

よってこれが増大すれば、我々のような比較的小さい規模の共同利用センターでは、その運営を圧迫することにもなりかねません。

これらのことをどうか念頭におかれて科学研究費の申請をされます様お願いします。

3) 科研費の使用可能期間は交付決定通知より締切迄の期間が短く、かつ、その時期が繁忙期になります。

従って我々のように能力一杯のセンターでは、あるいは利用が充分出来かねるかも知れません。

東大は能力的にも充分余裕があり（年間レンタル6.5億円以上）航空便扱いで数日で済みます。また長時間ジョブの優遇もなされています。（京大センターも、この秋東大センター以上の規模のものとなり、同様な状況になる予定です。）

科研費利用ジョブに対しては、利用のための出張旅費迄は支出できませんので申請段階でこれらの点を含んで充分利用出来るようご計画下さることをお願いします。

なお、科研費での計算機利用には、大型計算機センターがまだどこにもなかった時代、特に大きな役割を果たした日本学術振興会のユニコンの利用も便利なことをつけ加えておきます。これは一方円の申込み手数料でIBM360/195では0.25時間、UNIVAC 1108およびFACOM230/60では、それぞれ0.5時間の計算利用が（入出力には無関係に）認められています。

以上、我々のセンターのレンタル増が認められる迄の窮境を乗り切るために、若干のお願いをいたしました。何卒よろしくご配慮下さい。

（共同利用掛 電（内）2256）

◇ カード穿孔装置の変更について

現在2階ロビーおよびオープンパンチ室に設置しているカード穿孔装置を4月1日よりFACOM6822Aに機種変更いたします。利用方法についてはほとんど変更はありませんが、詳しくは備え付けの穿孔手順書を参照してください。なお、インタブリタは現在のままです。

(業務掛ジョブ管理班 電(内)2244)

◇ オープンパンチ室インタブリタの騒音防止について

最近インタブリタの騒音についての苦情が多々ありますが、騒音対策として防音カバーを取付けることになりましたのでお知らせします。

(業務掛ジョブ管理班 電(内)2244)